

異学校種連携による 統計的問題解決力の育成を 目指した試み

～お茶の水女子大学附属学校園
連携研究算数・数学部会の取組～



お茶の水女子大学附属中学校
藤原 大樹

背景

本学及び附属学校園が同一キャンパス内

文部科学省の研究開発学校の指定

- 平成 9～12年度 小中連携
- 平成 13～15年度 中高連携
- 平成 17～19年度 幼小中連携型一貫カリキュラム

附属学校園と大学の共同プロジェクト

- 平成 22～27年度 「合同研」「テーマ別部会」

→ 附属学校園連携研究の「今」へ

メンバーと主な活動内容

- ・ 附属小中高の教員＋大学の教員
- ・ 情報の共有, 意見交換 (例: 中教審算数・数学ワーキンググループ, 日本学術会議数理科学委員会数学教育分科会など)
- ・ 各校からの具体的な実践事例, 統計を学ぶ児童生徒への共通認識
例: 「カレーライス」から「関連レポート」へ(今週の部会にて)
- ・ 統計の指導内容の理解深化
- ・ 複数の校種で議論し, 学習指導案を検討・実施

お茶の水女子大学附属学校園の取組

